

教師海外研修（派遣国：マレーシア）実践報告書

1. タイトル マレーシア探検に出かけよう ～今、自分にできること～

2. 氏名 馬場啓輔

 学校名 京都市立桃陽総合支援学校 担当教科 小学校

3. 実践教科 社会科 時間数 5時間

4. 対象学年 小学6年生 対象人数 6名

5. カリキュラム案

（1）実践の目的

この単元では、主としてマレーシアの文化や経済、抱えている問題についてワークショップ形式で触れる。日本と経済や文化等の面でつながりの深い国の人々の生活に関心を持ち、異なる文化や習慣を理解することを目標とする。

また、子ども達にはさまざまな事象をいろいろな角度からとらえる経験を通して、今後の学習にもつながる国際的な視点を育成したい。

（2）授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
第1時 マレーシアの文化について知る。（1）	・ 普段目にしているものの中から、外国から入ってきたものや文化をさがす。 ・ フォトランゲージの手法を使いマレーシアの天然ゴム、ゴミ処理場、民族楽器、民族衣装について知る。	写真 動画 実物 W.S
第2時 マレーシアの文化について知る。（2）	・ マレー語の挨拶。 ・ 食を中心に日本との共通点探しをし、多民族国家について知る。	写真 動画 W.S
第3時 パームオイルについて知る。 （全国特別教育連合研究発表）	・ 熱帯の意味を知り、日本との違いを考える。 ・ プランテーションと熱帯林、動物(ピグミーゾウ)の関係について知る。 ・ パームオイルが自分の周りでどのように使われているか考える。	写真 動画 実物 W.S
第4時 パームオイル使用に	日本での生活とオイルプランテーション諸問題を振り返り、様々な立場からパームオイルの使用につい	パームオイル 輸入量の分か

ついてディベートをする。	て考える。	る資料 W.S
第5時 これまでの学習を振り返る。	W.S を用いてこれまでの自分の考えをまとめ、自分にできることについて考える。	W.S

6. 授業詳細

指導にあたっては、子ども達はその国独自のさまざまな文化や慣習に触れる場面で、一方向的なものの見方による偏見が生まれることのないように、最大限の注意を払った。

<第1時>

(1) 外国からやってきたものや文化

ねらい：日本で生活する自分たちの生活は外国からの輸入品や、文化を多く取り入れ成り立っていることを知る。

反応：社会科で既習の内容からピアノ、電話、スプーンなどの物のほか、漢字やクリスマスなど文化についても想起することができた。

(2) 写真で見つけたこんなマレーシア

ねらい：宗教的な日本との相違と、次時以降に学習する予定の社会的な問題に関わる写真を見て、何なのかを考えることで本単元での学習のめあてを知る。

反応：写真Aでは、日の入り日没とイスラムのお祈りの時間が記されたカレンダーをめぐる話を聞く中で、同国内にイスラム教徒が多く存在することを実感できた。また、写真Bではゴミ処理場に立つ小屋の写真から、写真Aとともにマレーシアの民族多様性・移民問題と関連付けた、学校に行くことのできない子ども達についてその存在を知り、自分の置かれた立場を省みることができた。

<第2時>

(1) おもしろ発見！日本語みたいなマレー語

ねらい：マレー語に触れることでマレーシアに親近感を持つ。

反応：オカン、ナシ、クエ、イカン等、日本語の発音に近い単語に触れた際には、想像した意味との隔たりを楽しみ、マレー語以外の言語と日本語の比較についても興味を持つことができた。

また、マレー語およびドゥスン語での自己紹介をする学習では、同一国内に多数の言語があることを知り、多民族国家であることを再認識すると同時に、その他の表現を調べるなど意欲的に活動することができた。

(2) ini apa? (これなに?)

ねらい：一見して使い方のわからないものの用途を知るなかで、マレーシアの多民族国家について理解をする。

反応：大変意欲的に活動に取り組むことができた。特にイスラムのお祈りについて書かれた飛行機のパンフレットについては、記載内容にも興味を抱き、イスラム教につい

て他資料も用いた発展的学習につながった。また、シナモンの木については学習後に調理実習で実際に使うなど、学習を生活に結び付けることができた。

<第3時>

(1) 熱帯雨林の役割

ねらい：地球温暖化と熱帯雨林の関係を知る。

反応：マレーシアの位置と熱帯雨林の関係を知らないうちに、熱帯雨林の存在が地球にとって必要不可欠なものであることを知ることができた。教師からの説明の中で、熱帯雨林を伐採してプランテーションが作られていることを知ると、「プランテーションの木も酸素を出すから、たくさん植えればいいのではないか」という考えも聞かれた。

(2) ini apa? (アブラヤシの実) ~どんなものに使われているの~

ねらい：アブラヤシの実と自分の生活のつながりを知る。

反応：アブラヤシの実の実物を手に取ることで意欲的に学ぶことができた。また、身の回りでどのように使われるかを知るために、授業後に家庭でのパーム油（植物油脂）を使った製品を探す活動を行った。この活動では児童から家庭へ向けたパーム油を取り巻く問題の啓発にもつながった。今回は乾燥させた実を用いたので、収穫したばかりの実の写真と目の前にある実が結び付かない児童も見られたことが反省点として挙げられる。

(3) 自分にできることってなんだ

ねらい：ビデオを視聴し、開発により住む場所をおわれる動物の存在を知り、動物の生活を守るためにどうしたらいいかを考える。

反応：自分たちの身の回りの製品を作るために、生物多様性を維持してきた熱帯雨林を伐採し、多くの生き物の生活が犠牲になることを、実生活に結びつけて知ることができた。動物の生活に視点を置いた質問であったが、児童の考えの中には「動物はかわいそうだからどうにかしてあげたいけれど、自分たちの生活が不便になるのも困る」と問題を包括的にとらえようとするものもみられた。

<第4時>

(1) アブラヤシを取り巻く生き物たち

ねらい：消費者、生産者（農園主・日本企業・労働者）、森の生き物、政府それぞれの立場でプランテーションが含有する課題を整理する。

反応：それぞれの立場に立つために動画資料、写真資料を用いたり、プランテーションに対する思いをプラス、マイナスの二極化したりすることが理解の手立てとなった。しかし、消費者、森の生き物の立場については非常に活発な意見交換ができた反面、生産者、政府の立場については指導者側が想定していたほどの意見は聞かれなかった。この点については児童のこれまでの生活経験を考慮し、今後何らかの支援が必要であると思われる。

(2) ディベートをしよう

ねらい：プランテーションの今後のあり方について話し合う。

反応：ディベートは各児童が6つのうち2つの立場に立って合計2回行った。ディベートという学習形式では、本来物事の可否を議論するが、今回はあえて可否では判断できないものをテーマとした。ディベートでは相手の質問に対する回答や、相手の主張を想定して質問内容を考えるが、この活動そのものに様々な立場に立つ必要があったので、より多角的にプランテーション問題を見ることができた。

<第5時>

(1) 今、自分にできること

ねらい：これまでの学習を振り返り、プランテーション問題について自分の考えを持つ。

反応：自分の W.S. をもとに振り返りをする中で、単元前半での学習内容について新たな疑問が芽生えたり、他児の考えに興味を抱いたりという様子が見られた。児童の意見の中には、「プランテーション問題と同じで、他の国にも私が知らない問題がたくさんありそう。他の問題も考えていかないといけない。」と今後の学習に対する意欲的なものもみられた。

7. 所感

学級の児童は、これまでも他国の文化に触れる学習を進めてきており、実際にアンケートを行うとこれまでに学習したことのある国として、「韓国」「中国」「欧米諸国」などの国名が挙がった。しかし、外国の文化には触れてきた反面、その国の課題や日本との関係、その中に存在する問題に触れることはほとんど無かったようである。今回はそういった問題点にも触れ、より深くマレーシアという国を知り自分の考えを持つことで、異文化の理解につなげることができた。

また、子ども達の多角的なものの見方の育成のために、今回の単元では本来複雑な問題を提示する際、その問題を単純化すること、子ども達がその問題を自分の問題としてとらえるための学習のねらいの明確化をすることを目指した。同時に、資料・教具の精選や、思考活動を高めるワークショップなどの活動や支援を通して、学びと生活をつなげることができたと考えている。

8. 写真・資料等

WAKTU SOLAT BAGI KAWASAN KOTA KINARALU (MUSLIM PRAYER SCHEDULE)

NOON	DUSK	SUBUH	SYURUK	ZOHOR	ASHA	MALAM	NOON
1	4:40	4:50	6:11	12:25	15:45	18:54	19:47
2	4:41	4:51	6:11	12:24	15:44	18:54	19:47
3	4:41	4:51	6:11	12:24	15:44	18:54	19:47
4	4:41	4:51	6:11	12:24	15:43	18:53	19:46
5	4:41	4:51	6:11	12:24	15:42	18:52	19:45
6	4:41	4:51	6:11	12:24	15:41	18:52	19:44
7	4:41	4:51	6:11	12:24	15:40	18:52	19:44
8	4:42	4:52	6:11	12:24	15:40	18:52	19:44
9	4:42	4:52	6:11	12:23	15:39	18:51	19:43
10	4:42	4:52	6:11	12:23	15:39	18:51	19:43
11	4:42	4:52	6:11	12:23	15:38	18:51	19:43
12	4:42	4:52	6:11	12:22	15:37	18:51	19:42
13	4:42	4:52	6:11	12:21	15:36	18:50	19:41
14	4:42	4:52	6:11	12:21	15:35	18:50	19:41
15	4:42	4:52	6:11	12:21	15:35	18:50	19:41
16	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
17	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
18	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
19	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
20	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
21	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
22	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
23	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
24	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
25	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
26	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
27	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
28	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
29	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
30	4:42	4:52	6:11	12:21	15:34	18:50	19:41
31	4:42	4:52	6:08	12:19	15:24	18:24	19:24

Hubungi kami www.sabab.org.my/hubud

(写真 A)



(写真 B-1)



(写真 B-2)

<以下授業で使った画像より抜粋>

JICA (ODA) のおしごと

ODAのしくみ

JICAは、ODAのしくみとして、貸付と無償資金協力を提供しています。

JICAマレーシアでは

- 経済連携
- BBEC
- 福祉
- 南南協力

日本のアニメ、大人気

マレーシアって・・・

半島側とボルネオ側

北

赤道

熱帯

南

暑い国？

いやいや寒いよ

マレーシア



現に多くの森が切り開かれ、**環境破壊**につながっています。

失業対策として **山を拓き**政府管轄の**パーム農園**の運営をはじめています。

政府役人